

WEB オープンキャンパス Q&A ～心理カウンセリング専攻～

Q. 各カリキュラムの具体的な内容は？

A. 入学後の学修プロセスについて図1に示しました。1、2年次で心理学の基礎やキャリアデザインを考える科目を学びます。2年間の学びや学内外の活動を通して、将来どんなことがしたいのかを考え、3年次からはそれぞれのキャリアデザインに適したコースに分かれます。3つのコースについて図2に示しました。それぞれのコースで学べる科目等については、大学案内153～154ページを参照下さい。（<https://www.okiu.ac.jp/admissions/shiryo>）

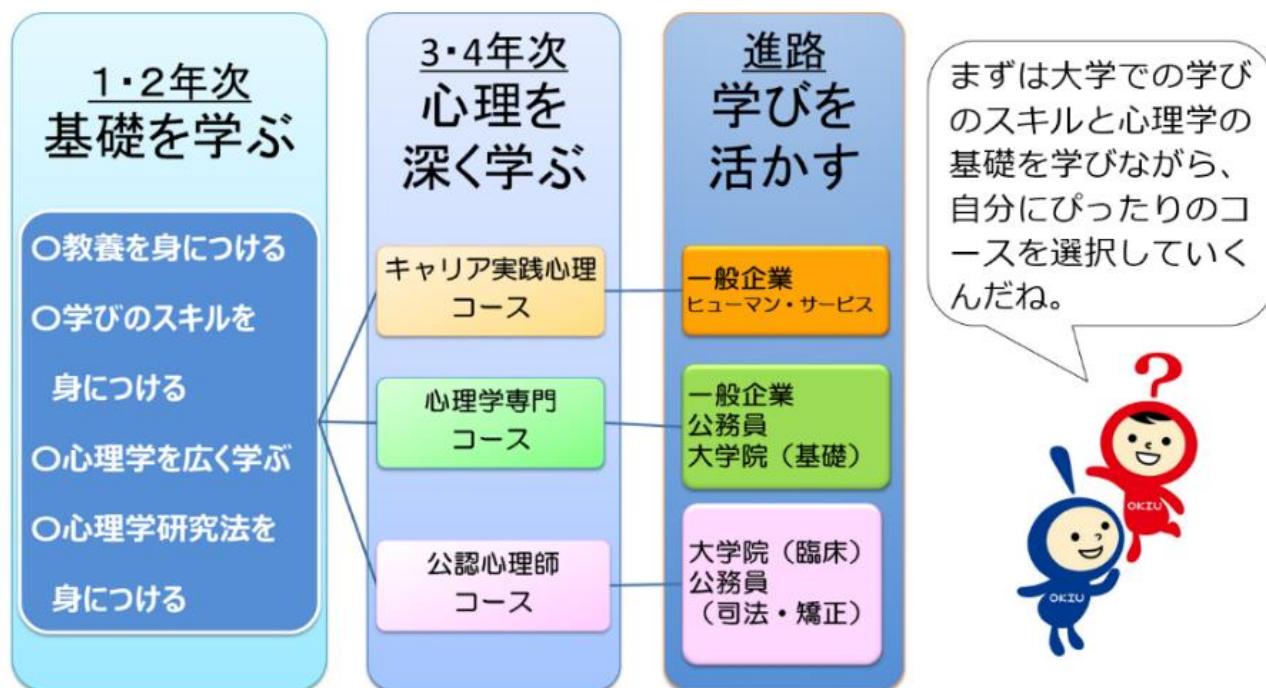


図1 心理カウンセリング専攻 学びのプロセス

社会で活かせる心理学を学べる3つのコース

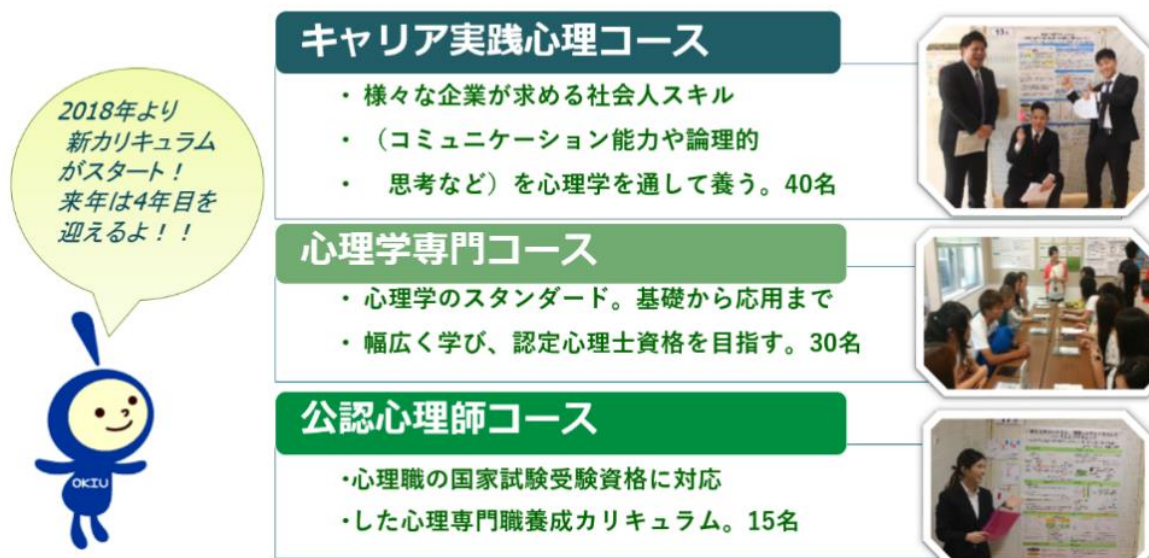


図2 3つのコースについて

A. 下記に示した5つが本専攻の強みです（図3）。専門科目が充実しており（図4）、4年間を通して体系的に学ぶことができます。

1. 心理学は一般企業の就職に役立つ！

→ 企業が求める“社会人基礎力”は心理学で伸びる！

→ 学びを通して、“科学的視点”と“共感的視点”が育つ！

→ 充実したカリキュラムで心理学の多領域をカバー！

→ 様々なイベント・行事・地域活動で人とつながる！

→ 学部・大学院ともに心理専門職養成カリキュラムに対応！

→ 充実したカリキュラムで心理学の多領域をカバー！

専門科目は70科目！

圖4 專門科目一覽

Q. 総合型選抜試験 A 日程の面接で特に気をつけてみているポイントがありますか。小論文対策として読むべきおすすめの本などがありますか。

A. 総合型選抜試験 A 日程では、書類審査と面接を通して、アドミッションポリシーにあてはまる人物かどうかや、学力の 3 要素が身についているかどうかを多面的に評価します。

面接の形式は、受検生 1 名に面接官 2 名で行います。面接時間は、小論文課題プレゼンテーション 5 分、質疑 5 分、通常面接 20 分、計 30 分（目安）です。面接の前半は、出願時に提出してもらう小論文課題に関するプレゼンと質疑応答を行います。面接の後半は、受検生がどのような人物かをみるための面接となります。

前半のプレゼン面接の評価のポイントは、①小論文課題のテーマについて、内容を理解し自分の言葉で説明できるかどうか、②テーマについて自分の意見や考えを、自分の言葉で伝えることができるかどうか、という点です。①と②を説明する時は原稿を一方的に読みあげるようなプレゼンではなく、面接官からの質問に対して、対話をしながら説明するイメージです。

面接後半の評価のポイントは、受検生が、自分自身で専攻のアドミッションポリシーに合う人物であることを具体的に、説得力をもって説明できるかという点です。主に、①高校時代に学んだことや特に力を入れて取り組んできたこと、②心理カウンセリング専攻で何を学び、どのように成長したいと思っているか、③将来についてどのような希望を持っているか、の 3 点から、説明できるかをみます。また、①の自分の体験と②③の大学での学びを関連づけて説明できるかもみます。将来の進路がはっきり決まっていなくても、現時点の自分の考えを説明できているかをみます。

小論文課題は、400～800 字（400 字詰め原稿用紙 1～2 枚）で、①課題テーマについて書籍やインターネットなどを調べてその内容を理解し自分の言葉で述べているか、②テーマについて調べたことに対して自分の意見や考えを、自分の言葉で述べているか、の 2 点がポイントになります。

小論文対策として、小論文課題に取り組む際に、課題テーマについて関心を持って書籍やインターネットなどを活用して調べ学習をする、調べたことに対して自分の意見や考えを持つ、調べたことや自分の意見を自分の言葉で論述し、口頭で伝えるという練習をするということが大切になります。きちんと調べて、小論文においても、面接の場においても、自分の意見や考えを述べられるよう準備しましょう。

おすすめの本については、下記の 2 つのタイプの本を探してみることをおすすめします。

① 小論文の書き方といった、文章の書き方の技術を紹介した本

まずは、高校の図書館、進路指導室、地域の図書館においてある参考書を探して、いくつか比較して自分に合うものを選びましょう。判断に迷う時は国語科の先生や司書の先生にも相談してみるのもいいでしょう。

インターネット検索すると大学受験を目指す高校生向けの参考書が多く紹介されています。小論文対策のまとめサイトや動画も多くあります。

② 小論文に書くための材料を吸収するための、さまざまなジャンルの本

高校生みなさんは小説をよく読んでいますと思いますが、ノンフィクションというジャンルのなかの社会、科学、教育、健康、子育てなどをテーマにした新書を読んでみましょう。心理カウンセリング専攻で課される小論文のテーマに共通する「社会のできごと、人の心の動きや行動に関すること」について多角的に理解し、考えることができるでしょう。例えば、岩波ジュニア新書シリーズ（<https://www.iwanami.co.jp/search/g8317.html>）などは、10 代みなさんに向けた本が多くあります。「ひとの心の働きや行動」とは何だ？ よくわからない、という場合は、「宮本聡介・伊藤拓（2019）.高校生に知ってほしい心理学 第 2 版 どう役立つ？ どういさせる？ 学文社」をおすすめします。高校生を対象とした心理学の入門書になっています。

Q. 心理カウンセリング専攻の学校推薦型選抜試験の面接は、どのようなことが求められますか？面接は1つのことを深く掘り下げて質問する感じですか？どのような方法で行うのか知りたいです。

A. 総合型選抜試験 A 日程と同様に、アドミッションポリシーにあてはまる人物かどうかをみます。

面接の方法は、受検生 1 名に面接官 2 名で、時間は 10 分～15 分（目安）です。面接では、①高校時代に学んだことや特に力を入れて取り組んだこと、心理カウンセリング専攻での何を学び、どのように成長したいと思っているか、③将来についてどのような希望をもっているか（将来の進路が明確でなくても、今はどう考えていか）の 3 点を中心に質問し、みなさんのこれまでの取り組みや人物像をみていきます。

上記 3 つのポイントについて質問していきながら、短い時間の中でも受検生のみなさんのことを知ることができるようにと考えています。そのために、基本の質問について深く聞くこともあれば、複数の質問に分けて角度を変えて聞くこともあります。面接官の質問に、受検生のみなさんが自分の言葉で、自分の体験や思いや考えを語ってもらう、という対話を通して面接が進んでいくイメージです。

Q. 小論文の試験内容を詳しく教えて欲しいです。制限時間、字数…等。小論文対策として読むべきおススメの本などがありますか。

A. 心理カウンセリング専攻の小論文のテーマは、社会のできごとやひとの心や行動に関することなどから出題されます。テーマに関連する知識や経験を説明し、それに対する自分の意見や考えを論述してもらいます。字数や制限時間は入試種別によって異なります。字数と制限時間は以下の通りです

①総合型選抜試験 A 日程の小論文課題：400～800 字 出願書類とともに提出

②学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦も共通）：800～1000 字 制限時間は 90 分

③総合型選抜試験 B 日程：800～1000 字 制限時間は 90 分

※各試験種別の詳細については大学ホームページに掲載されている 2021 年度入試要項

(<https://www.okiu.ac.jp/admissions/shiryō>) をご参照ください。

小論文をいきなり書くことは難しいと思います。小論文の対策講座を受講する、小論文の書き方についての本を読むなどの事前準備をするといいと思います。高校の授業で感想を書いたり意見を書いたりする機会も、自分の考えていることを言葉にすることや、まとめた分量の文章を書く練習になりますので、意識して取り組むことをお勧めします。面接や小論文に共通することは、自分の知識、自分の経験、自分の意見などを言葉にする（言語化）力が必要だということです。この力は、経験を重ねることでどんどん身につきます。まずは、身近な人との会話の中で自分の経験や考えを自分の言葉で話す、何か文章を書く機会にも自分の感じたことや考えを自分の言葉で書くという、小さな訓練を意識して積み重ねていきましょう。加えて、先に書いた、総合型選抜試験 A 日程の小論文対策の部分も参考にしてください。

Q. 公認心理師の道に進む人はどのくらいいますか？

A. 公認心理師なるためには公認心理師養成カリキュラムを備えた大学院に進む必要がありますが、本学大学院・他大学大学院を含め進学する人は毎年 7, 8 名ぐらいです。

Q. 心理カウンセリング専攻に通っている先輩方の就職先が知りたいです！

A. 心理カウンセリング専攻の就職先として、カウンセラーなどの心理支援の専門職をイメージしている高校生が多いかもしれません。しかし、実際は、心理支援の専門職を目指し、大学院に進学する学生は全体の約 1 割程度です。卒業生の 8 割は一般企業へ就職しています。

心理学を学ぶことにより、コミュニケーション能力、協働する力や論理的思考、課題発見能力など、どのような職場でも重要視される能力（社会人基礎力）を高めることができます。そのような学びの成果を活かして、県内・県外の企業に就職しています。職種としては、卸・小売業（スーパーや食品、機器、雑貨などの販売）や、サービス業（ホテルや観光産業）が一番多く、金融・保険（銀行など）の分野にも毎年複数名就職しています。最近では IT や建設・不動産、アパレル業界の分野も増えてきています。心理学は人と関わる全ての職種に活かすことができると言えるでしょう。具体的な企業名については、大学案内の冊子や大学ホームページ

（https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/ningenfukusi_mental）をご参照ください。

公務員では法務省の国家公務員（法務教官：少年院・少年鑑別所での矯正教育に携わる仕事）や、市町村の一般行政職に就職した先輩方がいます。

Q. 編入学のための事前相談をお願いしたいと思っています。事前相談の開催時期などありましたら、教えてください。

A. 編入学の際には事前相談が必要です。編入試験に間に合うように下記の日程に事前相談申請受付期間が決まっています。心理カウンセリング専攻の事前相談では、主に出身大学・短大での取得単位の読替（見込み）を説明し、編入後の履修計画についての見通しをお伝えします。また、取得希望資格やコース選択などの説明を行い、編入学年（2 年次編入・3 年次編入）の助言を行います。

前期日程：2020 年 10 月 20 日～23 日

後期日程：2020 年 12 月 14 日～17 日

編入についての手続きについての詳細は大学ホームページ

（<https://www.okiu.ac.jp/admissions/transfer>）をご参照ください。